

40

聖書に40という数字が出てきます。

- (1)「雨は四十日四十夜、地に降り注いだ。……洪水は四十日の間地上にあった。」
(創世記 7:12・17, 8:6)
- (2)「モーセは四十日四十夜、シナイ山にいた」(出エジプト 24:18)
……エジプトを脱出したイスラエル人は四十年間シナイ半島の砂漠をさまよったとされています。
- (3)「イエスは荒野を四十日のあいだ悪魔の試みにあわれた」(ルカ 4:2)

四十という数は、聖書の世界では一世代を表す数です。そして『苦行の期間、試練の期間とされています。

「シナイの荒野を四十年間さまよった」という記述ですが、必ずしも歴史上の40年間と解釈する必要はありません。

エジプトを脱出したイスラエル人の誰も約束された地に入ることができなかった、と読むことができます。

おそらくエジプト脱出した民は遊牧民として砂漠に住みついたのでしょう。そして何十年かしてその部族がエリコの町に攻め入ったのでしょう。或いは人口が増えて遊牧生活ではそれを支えきれなくなり、農耕民族の地域に侵入していった、と考えるほうがよいかもしれません。

映画「アラビアのロレンス」では砂漠の遊牧民の生活や戦闘のシーンが出てきます。理解に役立つと思います。

さて、40という数字以外にも、聖書には象徴的な意味をもつ数字が出てきます。それらについて理解していると聖書の理解が進むと思います。

参考

- ・ 荆いん宗教研究所 ミシェル・クリスチャン著「聖書のシンボル50」より『40』